



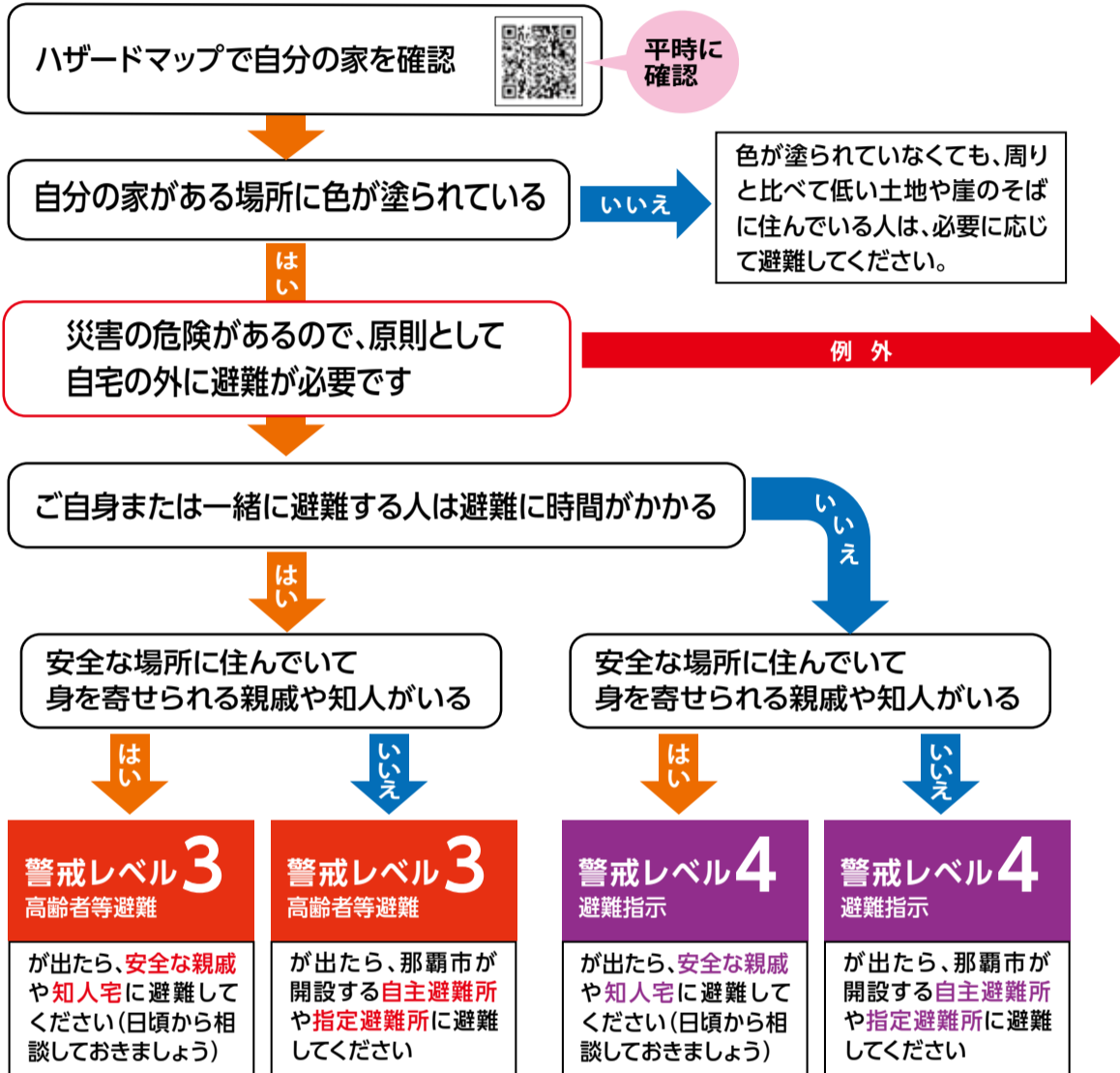
もしもに備えて「避難」

9月1日は「防災の日」です。毎年、全国各地で地震・台風・大雨・土砂崩れなどの災害が発生し、被害が出ています。

今年も台風第6号が襲来し、暴風警報や大雨警報の発表により、長時間にわたり市民生活に影響を及ぼしました。台風シーズン真っただ中の沖縄では、いつ台風

01 警報発表！私はどう行動するべき？

「内閣府防災公式LINE」でも簡単に避難行動が確認できます。



※浸水の危険があっても次の3つの条件に該当する場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。

- ①洪水により家屋が倒壊または崩落するおそれの高い区域の外側である
- ②浸水する深さよりも高いところにいる
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある

台風などで開設される自主避難所一覧

- ・那覇市役所本庁舎 ☎861-1102
- ・那覇市津波避難ビル ☎917-0139
- ・なほ市民協働プラザ ☎861-5024
- ・中央公民館 ☎917-3442
- ・若狭公民館 ☎917-3446
- ・繁多川公民館 ☎917-3448
- ・首里公民館 ☎917-3445
- ・石嶺公民館 ☎917-3447
- ・小祿南公民館 ☎917-3444

※避難する前に自主避難所等の開設状況をテレビ・ラジオ・市公式ホームページなどで確認してください

02 警戒レベルに応じた行動をとりましょう



災害発生！命の危険！

警戒レベル5が出てもまだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動する、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動するなどしてください。



危険な場所から全員避難！

高齢者などに限らず、全員が危険な場所から避難するタイミングです。



高齢者等は全員避難

避難に時間を要する人(高齢者・障がい者・乳幼児など)とその支援者は避難を開始。



避難場所や経路を確認

ハザードマップで災害が想定される区域や避難先、避難経路を確認してください。



今後の気象情報をチェック

ラジオやテレビなどで気象情報を確認し、災害への心構えを高めましょう。

「避難指示」は必ず避難！新しい避難情報、どうすれば良い？

【協力：LINE株式会社、NEWSグラフィティ】



についてみんなでも考えてみませんか？

が襲来してもおかしくない状況です。「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、ハザードマップによる自宅の災害リスクの確認、近くの自主避難所の位置の確認、事前の台風対策など、今できる防災・減災対策を行きましょう。

また、避難とは避難所へ行くことではありません。ご自宅などが安全な場合は、そのまま留まることも避難の1つです。自分や家族の安全を守るため、「在宅避難」の有効性の確認や、親戚宅、知人宅への避難もご検討ください。

☎ 防災危機管理課 ☎ 861-1102

03 在宅避難、何を準備しておくべき？

日常生活の中で、食料や水、生活用品などを多めに買い、使った分を補充する「ローリングストック(日常備蓄)」なら、手軽に取り組むことができます。今日からあなたも始めてみませんか？



東京都発行『東京防災』P.85

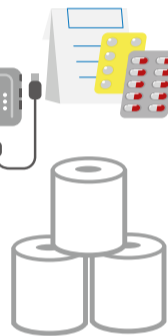
食事

- 水(1人1日3ℓ)
- 主食
(レトルトご飯、無洗米、日持ちするパンなど)
- 缶詰などのおかず
- おやつ
- 飲料
(野菜ジュース、健康飲料など)



日用品

- ゴミ袋(大・中)
- ラップ
- ティッシュペーパー
- トイレトペーパー
- ウェットティッシュ
- 携帯電話の予備バッテリー
- 生理用品
- 常備薬



乳幼児

- スティックタイプの粉ミルク
- 離乳食
- おしりふき
- おむつ



高齢者

- おかゆなどのやわらかい食品、高齢者用食品
- 入れ歯洗浄剤
- 紙おむつなどの介護用品



感染症対策

- マスク
- アルコール消毒液
- 除菌ウェットティッシュ
- 体温計
- 使い捨て手袋



04 在宅避難ができないときは避難所へ 何を準備する？

警報が発表されても必ず全ての避難所が開設されるわけではありません。開設情報をテレビなどで確認するようお願いします。避難所では、マスクの着用など感染症対策にご協力をお願いします。

必要なものを準備

- 食料・水
- スマートフォンまたは携帯電話
(モバイルバッテリーとセット)
- 常備薬、生活必需品など
- 感染症対策品(マスク、消毒液、体温計)

避難先・避難ルートを確認

- 自身に適した避難先を確認しておきましょう
- 避難するときを想定し、自宅から避難先までの安全なルートを確認しておきましょう
- 避難所の開設状況を市公式ホームページなどで確認しておきましょう
- 避難に時間を要する人が近隣にいる場合は、避難を促してください

05 「もしも」に備えた情報収集

台風や大雨警報発表時は、テレビやラジオで情報収集をお願いします。また、開設する各避難所の正確な情報を市公式ホームページに掲載します。情報収集ツールの一つとして活用ください。

那覇市公式
ホームページ



那覇市防災・気象情報メール

大雨や津波警報などの気象警報や災害時の防災情報を提供します。事前登録をお願いします。



防災行政無線

防災行政無線で放送した内容は電話でも確認できます。

☎ 863-2608

※通話料がかかります



那覇市防災
Twitter



Yahoo!
防災速報



沖縄気象台

警報・注意報の今後の推移や、「キキクル」で土砂災害・浸水洪水の危険度分布が確認できます。



06 地域の防災力を高めて 逃げ遅れゼロへ

高齢者や障がいのある人など、災害時にひとりで避難することが難しい人を「避難行動要支援者」といいます。その人たちが災害時に身を守るためには、地域の人たちが移動支援や安否確認などの避難支援を行うこと(共助)が重要です。

「避難行動要支援者」を災害時にどうサポートするか、日頃から地域で話し合いの機会を持ちましょう。

詳しくは市ホームページでご確認ください。

☎ 福祉政策課 ☎ 862-9002



市ホームページ
(避難行動要支援者支援)

